

令和2年度 第4回 日野川流域治水協議会 議事概要

開催日時：令和3年3月12日 14時～15時

開催場所：日野川河川事務所

議 事

■日野川水系流域治水プロジェクト（案）について

→協議の結果、日野川水系流域治水プロジェクトが承認された。

■各委員からの主な意見（発言順）

（米子市）

- ・今回の流域全体で治水を考えるということは、日野川下流部に位置する米子市にとっても非常に重要であると考えている。
- ・米子市においても河川拡幅整備等に取り組む。
- ・河川の流下能力を上げるとともに、河川上流域での「雨水の河川への急激な流出の抑制」も非常に重要であると認識している。森林等の保水能力を高めていくことが重要だと考えており、そのような取り組みをこの計画に盛り込んでいくことが必要だと考えている。
- ・米子市では令和3年度に立地適正化計画を作成する予定。街づくりを考えて行く上で水害リスクを減らすことが重要と考えている。
- ・今後とも「日野川水系流域治水プロジェクト」の推進に最大限の協力を行いたいと考えている。また、これまでも行って頂いている河川の伐開、浚渫についても引き続きの実施をお願いしたい。

（日吉津村）

- ・日吉津村は、ハザードマップにおいても、村のほぼ全域が浸水想定範囲にあるということで、今回の流域全体で治水対策を進めて行くことは賛成である。
- ・昨年度、全ての集落を回り、被害想定等を示して住民と意見交換を行った。防災意識の向上等ソフト面での対応が中心となるが、今後も一緒に取り組みを進めたいと考えている。

（大山町）

- ・令和2年度より、利水ダムを治水に使う事前放流を行っているところ。大山町では、下蚊屋ダムの水を農地に使わせさせて頂いているが、関係者からも「利水ダムを治水に使うことは良いことだ」と前向きな声を聴いている。
- ・二級河川においても、河床掘削や伐開を進めて頂いているので、引き続きよろしく願いしたい。

(南部町)

- ・「日野川水系流域治水プロジェクト」を今後ともよろしくお願ひしたい。
- ・南部町の法勝寺川の上流には賀祥ダムがあり、小松谷川の上流には朝鍋ダムがあり、河川とダムを複合した地域となっている。南側の山間地は急峻な地形、法勝寺川下流部では里地を形成する田園地という特徴がある。従って、この流域治水対策においても様々な取り組みが必要になる。
- ・減災に必要な関連施設の整備、特にハード対策を継続あるいは、新規事業も含めてプロジェクトを進めていけば、より良い治水事業になると考える。
- ・ダムの緊急放流について住民への説明や、浸水想定表示板を県土整備局と共に整備を行い、「ハザードマップの見える化」を進めているところである。
- ・このようにソフト面を含め、南部町として、「日野川水系流域治水プロジェクト」に努力して行きたいと考えている。

(伯耆町)

- ・今回の「日野川水系流域治水プロジェクト（案）」は、妥当なものだと考えている。
- ・日野川の特長として流れが速いという事がある。このため、できる対応に限られるということもある。洪水を安全に流すということが一番だと思う。
- ・ハザードマップの整備等により住民の避難意識も高まってきていると感じている。河川整備をより一層、進めて頂きたいと思っている。

(日南町)

- ・今回の「日野川水系流域治水プロジェクト（案）」は、良好なものと思っている。
- ・日南町は、日野川の源流に位置し、急峻な地形にあるので、日野川本川の他にも小さな普通河川が多くある。そういったところの河川整備も進めて欲しいと思っている。
- ・近年、短時間での豪雨による災害が続いていると感じている。
そういう雨が降った場合にどのような影響があるのか知見等を共有して頂きたい。

(日野町)

- ・このプロジェクトは、防災・減災の指針となる重要な取り組みだと考えている。
- ・防災体制づくりや地域住民への意識づくり、マイタイムラインの作成にあたっては、“行政と地域コミュニティーとの意識共有が重要”だと大事だと思っている。
- ・日野町では、ハード対策として、内水氾濫対策となる排水施設の整備を進めており、今後も進めて行きたいと考えている。また、日野川等で行われている樹木の伐採や河道掘削についても、引き続き進めて頂きたい。
- ・日野町も先進地の取り組みを参考にしながら、各参画機関と連携をはかり治水対策に取り組んで参りたい。

(江府町)

- ・水田の貯水機能の活用も重要だと考えている。
町議会でも農業用水路も含めた水田の維持保全が、防災・減災上重要であるとの意見を頂いているところ。関係機関の皆様には、引き続きご支援をお願いしたい。
- ・被害の軽減のための取り組みとしては、現在、地域防災計画の見直しを進めている。ハザードマップの改定も予定しており、住民の意識啓発を促して行きたいと考えている。

(鳥取県 危機管理局)

- ・ソフト対策として「支え愛マップ」の作成支援等を行うほか、「あんしんトリピーメール」等の情報配信ツールを活用した防災情報の提供を行っている。市町村からの情報発信にも積極的に活用いただくようお願いする。
- ・今後、災害時の県の災害対策本部、警戒本部のインターネット配信を行う。

(鳥取県 県土整備部)

- ・鳥取県では、小松谷川における築堤・河道掘削・橋梁改築等の整備や水貫川における排水機場の整備などを行っている。また、県管理河川の樹木伐採・河道掘削についても取り組んで行く。
- ・流域治水を進めて行く上で、地域の方々の理解を得るため、国土交通省や市町村と一緒に地元住民への説明等を行う場面も想定されるので、密な連携をお願いする。

(鳥取県 生活環境部)

- ・日野川流域においては鳥取県による下水道事業を行っておらず、位置付けられた事業は無いが、「日野川水系流域治水プロジェクト(案)」について、賛同する。

(農林水産省 中国土地改良調査管理事務所)

- ・農林水産省では、下蚊屋ダムの低水位管理等に取り組んでいる。
市町村さんが農業分野での新たな取り組みを検討される場合には、県の農業部局と連携をはかりながら、対応をさせて頂くので、よろしくをお願いしたい。

(林野庁 鳥取森林管理署)

- ・今回の「日野川水系流域治水プロジェクト」への参画にあたり、森林の水源涵養機能、土砂流出防止の機能のため、間伐等の森林保全を行うことが大切だと考えている。
- ・森林の再生や林業への貢献の取り組みを県民の皆様にも知って頂きたいと考えている。

(森林整備センター 鳥取水源林整備事務所)

- ・ダムの上流域等の水源涵養上重要な民有保安林の森林整備を進めている。
- ・いわゆる“緑のダム”の造成により、雨水を地中に蓄え、安定的に河川に流すことで、洪水や渇水の緩和に貢献できると共に、植栽等の森林整備により土砂流出や土砂崩壊の防止等の森林の公益的機能の維持・増進をはかっている。
- ・これらの事業により、日野川の上流域対策として、関係機関と連携し、治水効果を高めていきたいと考えている。

(国土交通省 日野川河川事務所)

- ・このプロジェクトに位置付けた対策を今後も連携しながら進めて参りたい。
- ・他にも、この流域治水プロジェクトに位置付けられていない事業もあると思うので、引き続き来年度以降も議論を続けていきたいと考えている。

以 上